

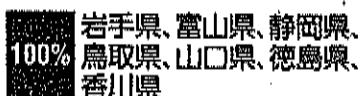
コロナ 医師確保の高齢者施設65%

新型コロナウイルスの感

染拡大で高齢者施設でクラスター（感染者集団）が相次いだ問題で、厚生労働省が施設内で医療を受けられる状況を調べた結果、医師や看護師の派遣や往診を要請できる医療機関を確保できている施設は65%だったことがわかった。次の感染拡大に備え、施設内でも迅速な医療が受けられる体制整備が急務となっている。

同省が28日に公表した調査（回答率67%）では、全国の5万6119施設のうち3万6212施設が医師や看護師の往診、派遣を要請できる医療機関を事前に確保していると答えた。7県が100%だったのに對し、10%台の県もあった。各省は残りの35%の施設（未回答含む）についても、引き続き体制確保を求めていた。（石川友憲）

医師らの往診・派遣体制がある 高齢者施設の割合



- 施設で確保できないところは県が調整に乗り出している
- クラスターを制御する専門家チームをつくっている

全国水準を下回る自治体



- これまで自治体が医療機関を確保する仕組みがなかった



- コロナ対応できる医療機関は限られている。どこまで対応できるかも課題

厚生労働省の調査から

施設内療養

拭えぬ不安

「町中華でフランス料理を作ってくれ」と書かれて「もすぐできない」

高齢者施設の感染者を施

設で療養させる難しさを、都医師会の平川博之副会長はそう表現する。都は1月、施設への往診態勢を広げる方針を打ち出した。

痛感したのは施設と医療機関との間にある設備、運営面の違いだ。感染者を隔離するためのゾーニングも都内施設ではスペースの関係などから難しい。「一番恐れているのは職員が（辞

力用ほど）かかった。

鶴岡哲也施設長（49）は「施設内療養は救える命が救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロアに感染者と感染していない人

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れる。白楽荘には嘱託医が週に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医療処置があるても感染拡大の不安はぬぐえない。病院

め）抜けていく」と。施設にしづ寄せが行きすぎれば、施設の運営そのものが立ちゆかなくなる、との懸念があったという。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往診・

治療は有効と考える人もいる。医療法人社団「悠翔

会」（東京都港区）は、感

染が急拡大した1～2月、

多摩市にある特別養護老人

ホーム「白楽荘」では2

月、利用者29人が陽性にな

るクラスター（感染者集

団）が発生。全員が施設内

で療養し、落ち着くまで1

カ月ほどかかった。

鶴岡哲也施設長（49）は

「施設内療養は救える命が

救えない不安がつきまと

う」。施設では同じフロア

に感染者と感染していない

人が同居することになる。

都も厚生労働省も、施設

へ医師や看護師を派遣する

仕組みづくりに力を入れ

る。白楽荘には嘱託医が週

に1度は訪問。2月のクラ

スターでは治療薬を処方してもらつた。

鶴岡さんは「継続的な医

療処置があるても感染拡

大の不安はぬぐえない。病院

が逼迫するのはわかるが、

オミクロン株の感染者にと

つて施設内の療養が最善だ

とは思えない」と話す。

一方、施設内での往